

2019年1月9日

腫瘍外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「 Blumgart 変法導入後の膵頭十二指腸切除術の手術成績 」 への協力をお願い

腫瘍外科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：

2004年6月から2018年7月までに当科にて膵頭十二指腸切除術を受けられた方

研究期間：

倫理審査委員会承認日～ 2020年3月31日

研究目的・方法：

膵頭十二指腸切除術における膵空腸吻合法には各種あるが、近年は1990年に報告されたBlumgart法あるいはその変法を採用している施設が増えており、膵液瘻を中心とした術後合併症の軽減が報告されている。この方法は膵空腸吻合法のひとつであり、膵管粘膜と膵実質空腸全層の縫合に加え、膵実質と空腸漿膜筋層密着縫合を行うことにより、膵の損傷を防止でき、線ではなく面で膵断端を確実にラップさせられることが利点であり、当科でも2016年より本方法を導入している。そこで、2004年6月から2018年7月までに当科で膵頭十二指腸切除術を受けられた方で、Blumgart変法導入後の手術成績を術後合併症を中心に調査し、従来法と比較検討することを目的とする。

研究に用いる試料・情報の種類：

- ① 年齢、性別、BMI、疾患名などの術前情報
- ② 術式の詳細（ドレインの数、ステントチューブや腸瘻の有無）
- ③ 手術時間、出血量、輸血や血液製剤の使用の有無
- ④ 術後在院日数
- ⑤ 術後合併症の発生率（膵液瘻、胆汁漏、胃内容排泄遅延など）

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来に

わたくし当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 腫瘍外科

電話番号 058-230-6233

氏名： 今井 寿

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 腫瘍外科

氏名： 吉田 和弘